

米沢キャンパスにおける対応について（2020年6月19日～）

○6月19日現在の基本的な活動レベル【2】

○活動指針

業務項目		レベル	活動状態
教育活動		2	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の専門科目授業は、すべてWebClassを利用したオンライン教材による遠隔授業により実施する。 ・ただし、実験・実習等、対面授業が望ましいとされる授業については、キャンパス内の安全確保が確認された場合に限り、学生への十分な周知期間を設けて実施する。 ・自宅で遠隔授業を受講するための環境が十分でない学生のための学習スペースを開放する。
研究活動	教員	1	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を徹底した上で、通常どおり実施する。
	学生	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学部4年生及び大学院生の卒業・修了に関わる研究活動に限り、指導教員が感染予防策を徹底した上で研究活動を認める。
教職員の出勤形態		2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に支障のない範囲で必要に応じ職務命令権者（キャンパス長）が在宅勤務を命ずる。
会議		2	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・打合せは、テレビ会議やZoom等のオンラインにより行うことを推奨し、やむを得ず複数人が同じ会議室等で会議・打合せを行う際は、感染症対策を徹底する。
学生活動	受講等	2	<ul style="list-style-type: none"> ・研究活動、TA・AA・RAの業務を行う場合及び、自宅で遠隔授業を受講するための環境が十分でない学生に限り、許可された場所への立ち入りを認める。 ・図書館は本の貸出・返却等のみの利用とし、学習スペースとしての利用は認めない。
	課外活動	2	<ul style="list-style-type: none"> ・接触を伴わない屋外の活動は可 ・着替えなどの最低限の部室利用可
学生支援		2	<ul style="list-style-type: none"> ・学生生活の継続に必要な支援は継続するが、学生への対応は、原則電話又はメールにより行う。 ・学生寮は閉鎖しない。 ・学生相談は、スカイプ、Zoom及び学生相談専用のメールアドレスで対応する。
行事等の実施・学内施設の外部への開放等		2	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント（オープンキャンパス、就職ガイダンスなど）は原則オンラインにより実施 ・式典（入学式など）は、状況に応じて判断 ・学内施設の一般への貸し出し及び開放は原則禁止。
出張・移動		1	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を徹底した上で、出張・移動を認める。 ・県外へ移動（出張を含む）した場合は、三密を避け、行動履歴を記録する。 ・来学者の受け入れについては、感染症対策を徹底した上で、通常どおりとする。

新型コロナウイルス感染症対策期間における研究室活動の遵守事項

(1) 体調に関すること

学生・教職員は、下記のとおり健康状態を自己管理し、大学からの要請があった場合には報告できるようにすること。

- ①登校・出勤前に検温する。
- ②体調に少しでも不安がある場合には、登校・出勤しない。
- ③発熱・体調不安があった場合には、新型コロナウイルス感染症対応フローチャートに従って行動する。
- ④基礎疾患・持病等何らかの事情により登校・出勤に不安がある者に対して、必要に応じて在宅での学習・業務を推進する。

(2) 感染予防策に関すること

研究室内において、次に掲げる感染予防策を徹底すること。単独での作業は行わないなど、通常の安全対策にも万全を図ること。

- ①登校時、トイレ使用后、研究室等への入場時には、手洗い、手指の消毒を必ず行う。
- ②複数名が集まる場所では、できる限りマスクを着用する。
- ③マスクの確保が困難で着用できない場合、および会話や発声を行う場合には 2メートルを目安として適切な距離を保つ。また、マスクがない時に咳をする場合には、ティッシュ・ハンカチや袖等で口や鼻を被覆する。
- ④机が隣接するなど近くなる状況を極力避ける（隣接しないようなシフト制の導入、ビニール隔壁の設置など）。
- ⑤窓、扉等を定期的に開放するなどにより、換気に努める。
- ⑥通常の清掃に加えて、水と洗剤、ないしは消毒液を用いて、特に机、ドアノブ、スイッチ、テーブル、椅子、人がよく触れるところの拭き取り清掃を行う。
- ⑦複数名で食事をとる際には、会話は避ける。
- ⑧長時間の滞在を避ける。
- ⑨共用の機器・設備を利用する際は、利用者と利用時間を記録し、毎回の消毒を行う。また、不特定の者が利用しないようにする。
- ⑩他の研究室等を無闇に訪問するなど、不特定多数との交流は行わない。
- ⑪出勤・登校の記録をつける。

※アレルギー等のため、アルコール消毒や常時マスクの着用が難しい場合は、適宜対応する。